



1月15日～2月14日

かわらんべ講座

詳細はコチラに掲載しています



伝統的なモノづくり体験
コウゾという植物の皮を材料にして昔ながらの紙すきという方法で和紙をつくりました

和紙づくり

1/18
42名



みなさん
手作りと思えない
上品な和紙が
できました

春さがし

2/1
26名

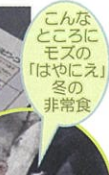
タイトルは春さがしですが、探すのは厳しい冬を耐えて春を待つ生き物たちの「冬越しの姿」冬を乗り切る生き物の知恵を知りました



なにに見える?



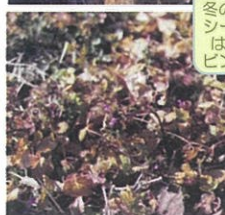
お題は16



こんなところにもズノ「はやにえ」冬の非常食



みつけた冬の姿にシールをはってピンゴ!



ここには虫の集団冬越しはおしくまんじゅうみたい



これが和紙の原料



先生手作りの子ども用紙すきキットで体験楽々

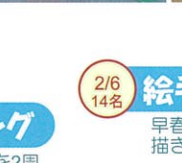
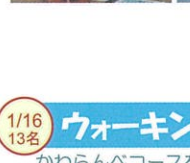


和紙を使ったあんどん作り

2/8
43名



和紙づくり講座の作品を使ったクラフト和紙を貼った「あんどん」を作りました



ガーゼのしぼり染め

1/25
36名

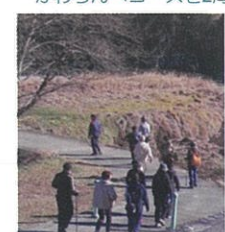
木の実などの植物の汁を使って布を染める草木染めを体験絞った布から模様が出てくるしぼり染めを楽しみました



色もようもそれぞれ個性がとってもいいね

ウォーキング

1/16
13名
かわらんベコースを2周



絵手紙

2/6
14名
早春の花を描きました



エコ布ぞうり作り

2/13
3名
古布がぞうりに!!
エコライフですね



ご利用いただきました

リクエスト講座

1月15日～2月14日

のようす

●矢作古川(水系)改修促進期成同盟会

1月30日(木) 16名

【視察研修】

天竜川の過去の

水害と

三六災害後の

治水対策事業

学校の授業支援・親子レク・地区行事など園・学校・各種団体からの要望を受けて

ご依頼団体と一緒に企画・運営する講座です

水辺の楽校

いいだ

水辺の楽校の樹木整理

1/28

1/29

冬の樹木整理作業も今年で3年目。地元川路地区のみなさんで

構成する「グリーンカルチャー」さんのお世話になり、今回は水

辺の楽校の畑の近くのジャマな木を切り、伸びすぎた枝を落とす

作業をしました。ライブカメラの映像に映る天竜川の風景も、樹

木のコミコミが和らいで、若干ではありますがスッキリしました。

切った樹木は今年も3月のキノコ栽培講座に活用します。講座

の資源としてムダにしないよう環境管理を進めています。

作業前

この木を切りました

作業後

ライブ映像

見栄えも

良くなった?

グリーンカルチャー

さんが手際よく

ていねいに作業して

くれました

かわらんべ

図書室の

本の紹介

災害に対応しつつ環境などに配慮した事例満載

図説 河川災害と復興

自然環境の再生と持続社会

かわらんべの活動の二つの大きな目的が「防災」と「環境

保全」ですが、防災工事によって健全な河川環境は少なから

ず損なわれる恐れがあり、時に両者は真逆の方向に向かう場

面を目にしてきた経験から、この矛盾にいつも頭を悩ませな

がら両方の学習を運営してきました。

そんな中、最近になって自然環境再生の技術を災害復興に

も応用した事例や、自然環境などに配慮した防災施設の計画

が全国で進められ、双方を両立した技術を取り入れた計画や

施工が急速に広がりつつあるようです。それら、防災・災害

復興と自然環境再生の融合をまとめた成書がこのほど出版さ

れ、かわらんべの河川図書室の書架にも入りました。

自然環境は平時のやすらぎを提供し、防災は安全安心感に

つながり、どちらも私たちの暮らしに欠かすことができません。

自然環境を大事にしながらか流域治水を推進することが持

続社会の要点であることを本書は教えてくれます。

著者の一人、谷田一三 先生は

水生昆虫を中心とした河川生態学

研究の第一人者で、

7年前のかわらんべ講座では水生

昆虫の分類・観察と生態を直接教

えていただく機会がありました

マシジミしらべたよ! 成果を展示

2/8

松尾小学校の4年生が学校の近くで

見つけたマシジミ(貝)のことを調べて

紹介するサイトをつくったと、紹介ポ

スターを届けに来てくれました。

総合学習で調べた結果を整理してサ

イト作成まで自分でやった自主研究の

成果です。

ポスターは「かわらん

べ」エントランスに貼ら

せていただきました。

ポスターの二次元コ

ードからマシジミ調査

の内容を閲覧してみてく

ださい。

※館内にWiFi環境がありませんので

閲覧時は各々の接続環境に留意

ください

正面の小川のカメ 正体判明!

2/1

正面の「水辺の楽校の小川にカ

メがいる」ということを本誌11

月号のタイトルコメントのところで

そっと紹介しましたが、そのカメ

が再び発見されました。しかも

今回は捕獲確認でカメの正体も判

明しました。小川のカメの種類は

ミシシippアカミミガメでした。

捕獲したのは講座終了後に魚と

りをしていた小学生の「たー君」。

真冬の野外で川底にいるカメを小

さなアミでとるなんて…その凄

腕に脱帽です。

集まってきた子ども達の好奇の

目が増える前に、とった場所に

そっと戻してあげたようです。

※条件付特定外来生物は、とることや(採

集)とったあとに その場所に逃がすことは

法律上問題ありません

あの

黒い影は

キミだった

のか?

図説 河川災害と復興

自然環境の再生と持続社会

解説編

01 過去の日本の河川災害 総論

02 近年の河川災害と治水の現状

03 河川災害の被害 総論

04 土砂災害

05 洪水災害

06 治水の現状

07 治水の課題

08 治水の対策

09 河川災害の被害 総論

10 河川災害の被害 洪水

11 河川災害の被害 土砂

12 治水による自然環境への影響(1) 自然環境への影響

13 治水による自然環境への影響(2) 治水による自然環境への影響

14 治水による自然環境への影響(3) 治水による自然環境への影響

15 河川災害の被害 洪水

16 河川災害の被害 土砂

17 河川災害の被害 洪水

18 河川災害の被害 土砂

事例編

01 伊豆川

02 利根川

03 荒川

04 利根川

05 荒川

06 利根川

07 荒川

08 利根川

09 荒川

10 利根川

11 荒川

12 利根川

13 荒川

14 利根川

15 荒川

16 利根川

17 荒川

18 利根川

本書は総論的な解説編のあとに近年の水害後の自然・風景・暮ら

しに配慮して施工された事例が紹介され、天竜川水系では先進的な

事例の「小渋川の土砂バイパス」が取り上げられています。

天竜川の防災・環境に深く関わる「かわらんべ」としては、H18

年7月豪雨後の災害復旧での河床環境復元※ によるザザムシやアユ

漁場の再生に注目していただけに、この取組が掲載に至らなかったのは

残念ですが、流域治水の最新の考え方に基づく豊富な事例や、第

一線の専門家が執筆する解説編は読みごたえがあり、前出のような

真逆の両者に悩み続ける方には一読の価値があります。おすすめは

解説編18の「環境の保全と再生への視座」 谷田先生の執筆です。

本書は、かわらんべの河川図書室にて閲覧可能です。

※天竜川での災害復旧工事における河床環境復元の取組 (H18年7月豪雨災害後)

参考までに、「第16回 “いい川づくり”ワークショップ in 白山手取川」(2024年9月)

においてこの取組が「準グランプリ」を受賞しました(発表者: NPO天竜川ゆめ会議)

天竜川

の旅

第38回

川底を横切る水路「天竜川伏越」

ふせこし

天竜川の源流から河口にかけて、天竜川の姿や自然、人々の関わりをご紹介します

【川底を横切る水路】 イメージしにくいのですが、天竜川の川底を

横切っていく水路が実際にあります。それが今回ご紹介する竜西

一貫水路の「天竜川伏越」(てんりゅうがわ ふせこし)と呼ばれる構造物です。

増築から50年の歳月で川底が低下したことにより、本来は川底に

埋まっているはずの姿が現れました。再び川底深くに埋設される工

事が今年度完了することから、「横切る」姿はこれが見納めです。

かわらんべの小川にも関係する竜西一貫水路の出発点を訪ねた

2013年と2015年の講座の様子を交えてご紹介します。

■かわらんべの小川の水はどこから来る!?

かわらんべの小川の水は、近くの低山・丘陵から流れてく

る細い沢ですが、その途中で竜西一貫水路の水が流れ込んで

くるため流れは太くなります。春から秋は沢の水より水路か

らの水量の方がずっと多くて、かわらんべの小川は竜西一貫

水路とほぼ同じ水質といっても過言ではないくらいです。

では、この竜西一貫水路はどこから来るのか? 上流へと

水路を辿っていくと、写真のこの場所に行き当たります。意

外にも、郡境のこんな遠くと「かわらんべ」は近い関係にある

のです。

矢印の間の横断構造物がサイフォン

竜西一貫水路はここから始まって天龍

峡付近までの24km、竜西と名の付くく

うに天竜川の西側の地域をほぼ一直

線に流れ下って途中の農地を潤します

<写真左>

2013年10月の「ダムと発電所の見学」

講座では中部電力さんのお世話になり、

南向発電所で使われた水がすぐに竜

西一貫水路に取水される様子を見学さ

せてもらいました

<写真右>

天竜川の河床下(地下)20mの位置に

新しい水路トンネルを埋設する工事は

平成27年度に始まり令和6年度完成予

定(写真は工事中2024年1月)

★サイフォン(伏越:ふせこし)

カンタンに言えば、ポンプを使わずに、

水路の水を高い所から低い所を通っ

てまた高いところまで流す方法

■「伊那谷遺産」や「信州の農業遺産」に選定

天竜川の西側の農地を潤す竜西一貫水路は

「伊那谷遺産」に選定され、水路橋や円筒分水が

「一度は訪れたい信州の農業遺産」に掲載されて

います。24kmの流路には見どころが随所に

あって、知られざる地域の魅力発見の見学ツ

アーも開催されるほどです。

郡境の天竜橋から眺める風景もいいですね

すぐ近くの「渡場のイチヨウ並木」もいいですよ

■天竜川の川底を 別の川が横切る!?

2013年の発電所見学で、駒ケ根の南向ダム(吉瀬ダム)

で集めた天竜川の水がこの近くの南向発電所に送られて水力

発電され、その水の一部がすぐに取水口に流れ込み、コンク

リート製の管で天竜川の川底を通過して西側の地域に運ばれ

ていくことを知りました。

これが竜西一貫水路の取水口と天竜川の川底を渡るサイ

フォン「天竜川伏越」です。天竜川の河床を横断する構造物と

してはとても珍しいもので、天竜川の川底を別の川が流れて

対岸へ行くことに多くの人は不思議な感覚を覚えるはずで

す。

このサイフォンの横断構造物は、以前はあまり目立たな

かったのですが、最近になって堰のように段差をつくって姿

を現しました。原因は天竜川の土砂が少なくなって川底の高

さが低くなってきたためですが、すでに築造から50年を経過

していますので老朽化や耐震化を踏まえて川底のもっと深く

に埋設する工事が行われ、今年度、その事業が完了します。

2015年の流域見学講座で

現地を訪れたとき「この水

がかわらんべの小川の水で

す」と紹介すると、みなさん

の会話がずいぶん盛り上

がったのを覚えています。

竜西一貫水路は知ってい

ても、その特殊な出発点の姿

く対岸からの発電放水の取

水や伏越での河床横断>は

想像の外のようでした。

竜西一貫水路

人と暮らしの伊那谷遺産プロジェクト

伊那谷地域の「土木」「暮らし」「自然」など

にまつわる先人の足跡を「伊那谷遺産」と

して選定・提案する取り組み

■伊那谷遺産の情報

<https://www.cbr.mlit.go.jp/tenryo/think/heritage/pdf/021.pdf>

3月 かわらんべ講座

受付中

※3月の休館日は、3日(月)・10日(月)・17日(月)・21日(金)・24日(月)・31日(月)

- お申し込みの際は保護者も含めて来場者の全員のお名前等の申込情報をお知らせください(保険加入のため)
- 欠席の場合は、必ず事前に欠席連絡をください(連絡なく欠席されると準備した材料や会場スペースが無駄になります)
- 天候・水量などから【中止】や【変更】となる場合もあります
情報はホームページで公表します
- 4月講座のお申し込みの際は、新年度からの学年・学校名も書き添えてください



きれいな石さがし

子どもと保護者

会場：天竜川

3/1 土
午前9:30～11:30

天竜川の河原で石をひろって種類を見分けて、運ばれてきた石のきれいな石も見つかります

受付終了

【持ち物】

- ・石を入れる袋
- ・防寒着
- ・長ぐつ
- ・筆記用具



きのこ栽培

子どもと保護者

会場：水辺の楽校と周辺

3/8 土
午前9:30～11:30

自宅の庭でヒラタケという食用のキノコを栽培してみよう(おいしいキノコです)育てる楽しみを自宅で体験でき、うまくいけば秋には収穫できます
今回はタネを植え付ける作業をします

【持ち物】

- ・原木を持ち帰る袋
- ・軍手
- ・防水手袋
- ・防寒具



グラウンドゴルフ

子どもと保護者

会場：わんぱく芝広場

3/15 土
午前9:30～11:30

ルールも道具も簡単なゴルフです
早春の河川敷の芝広場でのびのびと、遊び感覚でプレーできて、いい運動になります

【持ち物】

- ・防寒対策
- ・帽子
- ・手袋



■会場：わんぱく芝広場
かわらんべから堤防を歩いて5分程度の天竜川河川敷です。駐車場もあります。車で来場の場合は【飯田市川路多目的広場】の駐車場に駐車してください

草もちづくり

子どもと保護者

会場：かわらんべ正面

3/22 土
午前9:30～12:00

年度最後の講座です
1年間無事に講座ができたことと、来年度も予定どおりに講座が開催できることを願って、みんなで餅つきをして締めくくります

【持ち物】

- ・袋(ヨモギ用)
- ・軍手
- ・防寒具
- ・モチを入れる容器
- ・調理の服装
エプロン・帽子・マスク



春の水辺の楽校を会場に子供たち全員で餅つきします

ヨモギを入れて色鮮やかな「草もち」に

雨や雪の場合は館内で餅つきします

成人講座 ※3月の【絵手紙】はお休みします

ウォーキング

成人講座

定員30名

3/20 木
午後13:30～15:30

沿川3地区1周コース
川路/龍江/竜丘を天竜川沿いに歩きます(7km)



■持ち物
長距離歩く装備

【注目!!】かわらんべホームページが新しくなります

- 3月4日(火)はホームページにアクセスできなくなります
・ホームページ引越越し作業のため 一時的にお休みします
・この日は 申込フォームでの各種お申し込みはできません
- 3月5日から新しいホームページで運営します
・画像が新しくなり 表示も見やすくなります
・講座タグで内容をジャンル分けし 知りたい講座に素早くアクセス
・公式SNS(X) @kawaranbe も はじめます(発信に限定)

アドレスはそのままです

令和7年度

4月 かわらんべ講座

受付3/22から

受付期間 3月22日(土)から講座日前日まで
※受付期間内でも定員に達した場合は早期に受付終了となります

※4月の休館日は、7日(月)・14日(月)・21日(月)・28日(月)・30日(水)

ジャガイモ植え

■会場：かわらんべ(正面の水辺の楽校)

4/5 土
午前9:00～11:00

春の野鳥をみつけよう

■会場：かわらんべ～天竜川の堤防

4/12 土
午前9:00～11:00

注:同日同時刻に成人講座の野鳥観察も開催されますが観察ルートは異なります

食べられる野草

■会場：かわらんべと正面の水辺の楽校

4/19 土
午前9:00～11:00

親子で魚つり

■昨年の講座 6/1「川の水しつらべよう」6/22「がいらい植物をへらそう」7/6「アレチウリ駆除」の どれかに参加してくれたみなさんを家族でご招待

4/26 土
午前9:00～11:00

絵手紙

■会場：かわらんべ

4/3 木
午前9:00～11:00

定員20名

春の野鳥観察

■行き先：天龍峡付近

4/12 土
午前9:00～11:00

定員15名

ウォーキング

■コース：対岸堤防の八重桜コース4km

4/17 木
午後13:30～15:30

定員30名

鉱山巡り

■行き先：泰阜村の鉱山跡 ■乗り合わせの車代500円

4/27 日
午前9:00～午後15:00

定員15名